



令和元年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ソ ケ ッ ツ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 浦 部 浩 司
 (コード番号:3634 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 コーポレートマネジメント室 室長 小 田 嶋 俊 和
 (TEL. 03-5785-5518)

**2019 年3月期通期業績予想値と実績値との差異、
 並びに剰余金の配当(復配)に関するお知らせ**

当社は、2018年5月15日に公表しました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の個別業績予想値と本日公表しました「2019年3月期通期決算短信」の個別業績実績値について下記の通り差異が生じました。また、本日開催の取締役会において、2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当(復配)について、2019年6月21日開催予定の当社第19回定時株主総会にて付議することを決議いたしましたので、お知らせします。

記

1. 2019年3月期通期個別業績予想値と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2018年5月15日発表)	百万円 1,600	百万円 50	百万円 48	百万円 45	円 銭 18.41
実 績 値 (B)	1,443	68	68	49	20.37
増 減 額 (B-A)	△157	18	20	4	
増 減 率 (%)	△9.8%	37.8%	43.0%	10.9%	
(参考)前期実績 (2018年3月期)	1,604	68	67	64	

(2) 差異の理由

2019年3月期の業績につきましては、データライセンス売上が伸長し、全社売上のうち、データライセンス売上が49.0%と5割近い水準まで伸長しましたものの、開発・運用案件の縮小などにより売上高に関しましては、業績予想の9.8%減となりました。一方、粗利益率が前事業年度の38.0%から当事業年度は44.3%まで上昇いたしましたところ、期初予想比、営業利益37.8%増、経常利益43.0%増、当期純利益10.9%増とそれぞれ予想を上回ることとなりました。

2. 剰余金の配当(復配)について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	2019年3月31日	同左	2018年3月31日
1株当たり配当金	3円	0円	0円
配当金総額	7,358,451円	—	—
効力発生日	2019年6月24日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

(2) 配当の内訳

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	
今回実績					
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
前期実績					
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00

(3) 理由

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な課題の一つとして認識しており、経営成績及び財政状態を勘案しながら長期的な視点にたった安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当社は、2014年3月以降、無配を継続しておりましたが2019年3月期の期末配当につきましては、当期の業績及び今後の事業環境を総合的に判断しました結果、1株につき3円の期末配当(復配)を実施する事といたしました。

なお、本資料に関する詳細については、同日付で公表しております「2019年3月期決算補足説明資料」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上